

進路だより

～一緒に夢を見 一緒に夢を語り 一緒に夢を遡る～

〈西高桜咲かせ隊〉 進路指導部

文化祭最高でした！

文化祭が終わり、授業が再開しました。文化祭では、仲間と試行錯誤しながらよりよいものを創り上げようとする姿や当日の自信に満ちた堂々とした姿に感心させられるばかりでした。各西生は、今できる最善の方法を考えて、最善の結果を出すことができます。また、行事を通して得られる力は、課題発見力や課題解決力、コミュニケーション能力など勉強だけでは得られないかけがえのない宝物です。『やるときはやる！』今度は学習でその姿を見せてもらいたいものです。



【3年次は「受験後半戦」突入。試験日からの逆算を！】

入試形態に係わらず、『**自分の第一志望**』を目指して、いつまでに何をやるか試験日から『**逆算**』して計画を立て実行していきましょう。例えば2週間でというように期限を決めて目標を設定し、現状に合った戦略を立て実行することで、焦らず学習内容を積み重ねていくことができます。また、これからは、夏休みと違って学校生活のある中での受験勉強になります。授業にきちんと取り組んだ上で、時間を有効に使っていきましょう。平日はスキマ時間を上手に活用して『**5時間**』、休日は『**10時間**』を目指していきましょう。目標達成のためにやらなければならないことを実行する時間は、しっかり確保してやり切るということです。但し、ストレス解消も忘れずに、『**現役生は最後まで伸びる！**』これは本当です。一日一日を大切に過ごしていきましょう。

【1, 2年次は、学力アップもダウンもこれからが分かれ目！学習習慣の確立を！】

1年次はそろそろ緊張感が緩み、2年次はいわゆる『**中だるみ**』に陥りかねない時期です。そうならないよう、授業や部活動、行事等で忙しくても、流されず、授業を大切にした上で、時間を上手に使って学習を進めていきましょう。1年次生は、高校の学習スタイル(予習→授業→復習)を身につけることができましたか。1年次のうちに学習習慣を確立し、『**家庭学習が定着**』すれば、今後を着実に学力を伸ばすことができます。2年次生は、3年次生になるまであと半年、『**1月からは受験生0学期**』とも言われます。11月の模試からは、地歴と理科も入ってきます。進路研究や志望校研究を進めながら、日々の学習を継続していきましょう。

共通テストは、1, 2年の内容が8割です。1, 2年次ともに、次の年次になるまでに、それまでの教科書や問題集、単語帳の内容がマスターできているかがとても重要になります。定期考査に向けての学習はもちろん大切ですが、それだけでは学習したことの定着には結びつきません。模試の復習など**こまめに復習**してそれまでの学習内容の定着を図りましょう。特に、**定着に時間が必要な『英数国』は、2年次までに土台を固め、基礎の完成を目指しましょう。**残り半年の過ごし方で、次の年次のスタートラインが決まる、すなわち志望校との距離が決まるということです。毎日、少しでも学習時間を確保し(学習時間0の日を作らない!!)、『**進路実現につながる土台作り**』の後期にしていきましょう！

※ 後期土曜補習 の案内及び申込受付をします。積極的に参加して学力伸長を図りましょう。

9月の進路に関する行事

○ 3年次大学入学共通テスト説明会・推薦に関する説明会

9月6日(金) 第7限 受験案内を配布しました。共通テスト出願の開始です。
→ 大学入学共通テスト志願票の記入・提出 (9月末学校一括で出願します)

○ 3年次指定校推薦の発表 9月6日～

→ 学校推薦型選抜の推薦依頼の提出開始。この入試方法を利用する人は、一般入試に向けた学習と並行して、入念な事前準備と受験、合格後も学力伸長のための努力をする覚悟が必要です。



○3年次ベネッセ駿台共通テスト模試 9月6日(金), 7日(土)

→自己採点の結果から、**志望校との距離を測って**、各科目どの分野を詰めていくか戦略を立て実行していこう。次回の共通テスト模試は、10/20(日)全統共通テスト模試(公開会場)です。

○前期期末考査 9月20日(金)~26(木) →前期の成績が決まります。頑張りましょう。

3年次生は『**テスト勉強=受験勉強**』にいきましょう。

進路選択の参考に！

教育実習生から『後輩へのアドバイス』



○今通っている大学を受験しようと思い始めたのは、高2の夏でした。理由は、取得したい資格を取ることができたからと、オープンキャンパスで自分が学びたい分野をより深められると思ったからです。皆さんには、自分が楽しんで学び続けられることは何かを考えながら、毎日の授業に取り組んでいくことをおすすめします。

(愛知県立大 日本文化 国語国文)

○受験校の選択は、“4年間真剣に学び続けられるものは何か”を考えて選択しました。私は小学校から続けてきたことを更に専門的に学べる大学はどこかを調べ、取得したい資格が取得できるのかを確認して受験校を決定しました。大学名で決めるのではなく、その大学に入学し、何がしたいのか、何を学びたいのかを明確にすることが非常に重要だと思います。大学選択で後悔しないようオープンキャンパスに積極的に参加し、大学の雰囲気を感じることを1つの手段です。自分から行動を起こすと良いですよ！

(岐阜女子大 文化創造 文化創造)

○私は数学の教師になりたかったので、数学の教員免許が取れる大学を選びました。ただ、プログラミングにも興味がありました。そのため二つの夢を叶えることができる大学を目指しました。県を超えればたくさんの大学にも出会えます。自分が挑戦したいこと、興味があることを大切にしてみてください！

(岐阜大 工 電気電子・情報工)

○まず私が高校3年間で意識してきたことを書くと ①したくないことを軸に考える(文理選択) ②定期テストだけは頑張る(特に1, 2年) ③視野を広く持てる所を選ぶ(大学選び) この3つで、これによって内申を高いままキープして岐阜大学に推薦で合格することができました。また、情報系の学科で教職をとっているため、教育でない分野にも多く触れることができたのでおもしろかったです。(けど、この場合結構授業が多くなるのでそこは注意)最後に、各西の先生は聞けばちゃんと教えてくれる人ばかりです。たくさん質問しましょう。(勉強以外も)

(岐阜大 工 電気電子・情報工)

○私は、1年次のときから数学に興味があり、学びたかったので、文理選択に迷いはありませんでした。しかし、「数学」を活かせる職業は少なく、“情報系”や“金融系”にはあまり興味が出ず、高校の数学教員を目指すことに決めました。高校数学の教員免許が取得できる学部は、大きく「教育学部」か「理学部」だったため、私は数学を勉強するため「理学部」を目指しました。受験勉強をする上で一番大切なことは切磋琢磨できる仲間を見つけることです。一緒に勉強する、教え合うことはもちろん、お互いに意識して勉強することで、負けたくない！私ももっと勉強しよう！と向上心が持てます。一人で勉強していたら、もっと限界がくるのが早かったと思います。友達やクラスメイト、部活の仲間や先生方と一緒に受験に向き合えたことで、最後まで頑張ることができました。(名城大 理工 数学)

